

# 平成30年度 学校自己評価システムシート ( 県立吹上秋桜高等学校 )

目指す学校像	生徒の新たなチャレンジをとことん支援し、可能性を伸ばす生徒応援学校
--------	-----------------------------------

重点目標	1 「授業がいのち」を基盤とした基礎学力の定着と個に応じた指導の徹底 2 基本的生活習慣と規範意識の確立に向けた生活指導の充実 3 キャリア教育の充実と個に応じた進路指導の実践 4 地域の関係機関と連携し、地域に根差し信頼される開かれた学校づくり
------	--

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	5名
	生徒	4名
	事務局(教職員)	8名

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価					年度評価(2月8日現在)	
年度目標					年度評価	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	<p>・授業に熱心に取り組む生徒も多い反面、授業に出席しないために未履修、未修得に至る生徒も多い。授業の質の向上に努め、授業の大切さを自覚させる指導が必要である。</p> <p>・生徒の基礎学力定着を図るため、学習習慣を身に付けさせる指導や生徒の実態に応じた適切な支援を行う必要がある。</p>	<p>○授業改善による基礎学力の向上</p> <p>○確かな学力を身に付けさせるための個の支援の充実</p>	<p>①欠課時数の多い生徒については、授業担当者と担任が中心となり個別に粘り強く指導をする。</p> <p>②前期・後期に授業参観週間を設け、授業改善につなげる。</p>	<p>①未履修率が25%以下となったか。</p> <p>②前期・後期それぞれに授業参観についての意見集約をし、提案することができたか。</p>	<p>授業改善による基礎学力の向上についてはほぼ達成できた。前期の未履修率は昨年とほぼ同じ22%だった。全体的に落ちているものの、学習意欲の低い生徒も見受けられる。授業参観週間は年2回設け、授業改善に繋がった。巡回支援は、年9回行い、個別の支援ができた。</p>	A
2	<p>・様々な学習歴から、基本的な生活習慣が確立されず、欠席・遅刻・早退の多い生徒もいる。充実した学校生活を過ごせるように、教育相談体制の確立と保護者や外部機関との積極的な連携が求められている。</p> <p>・規範意識が確立されていない生徒もいる。問題行動の未然防止を図り、集団生活におけるルールやマナーを育むために、様々な場面で全教職員による生活指導に取り組む必要がある。</p>	<p>○校内の教育相談体制の確立と外部機関と連携した体制の充実</p> <p>○全教職員による粘り強く積極的な生活指導の充実</p>	<p>①就労支援連絡協議会や中学校との連携事業を通して、生徒の個別的な助言をいただく。</p> <p>②教育相談に関する研修会を定期的に開催する。</p>	<p>①外部との連携を密にし、定期的に情報交換をすることができたか。</p> <p>②教育相談に関する研修会を定期的に実施し、「個」の支援を充実させることができたか。</p>	<p>外部機関との連携についてはほぼ達成できた。中学校、ハローワーク、福祉施設等との連携を図り、連絡協議会や福祉、労働の相談会等を実施し、外部との協力体制を構築できた。また、教育相談部の会議を週2回行い、情報共有に努めた。SC、SSWと協力をし、体制づくりができた。</p> <p>生活指導の充実についてはほぼ達成できた。特別指導件数は、昨年より1件減少した。ここ数年件数は減少傾向にある。また、校内に防犯カメラを設置した。</p>	A
3	<p>・進路意識に差があり、計画的な高校生活を過ごせない生徒もいる。社会に繋げるためにも、進路意識と自信を持たせ、進路決定に必要な基礎学力と共にコミュニケーション能力などの社会性を育むキャリア教育の段階的な指導の充実が必要である。</p>	<p>○産社・総学とLHRを活用したキャリア教育の充実</p> <p>○コスモスステップによる基礎学力の向上と講演会等の実施による進路意識の向上</p>	<p>①本校の産社・総学の基本方針を含めたキャリア教育のプランについてさらなる充実を図る。</p>	<p>①定期的な産社・総学推進委員会を開催し、各年次が進めるキャリア教育について検証ができたか。</p>	<p>キャリア教育の充実についてはほぼ達成できた。昨年度作成したキャリア教育プランを基本として、各年次で工夫しながら指導できた。</p> <p>進路意識の向上についてはほぼ達成できた。進路講演会も体験活動を取り入れるなど工夫できた。コスモスステップは授業内で実施した。</p>	A
4	<p>・地域・中学校・保護者に本校の教育活動に対する理解をより深めてもらう必要がある。学校説明会やHPで本校の特色を情報発信するとともに、緊急時対応や情報提供のためにスマート連絡帳の加入率を高める必要がある。</p> <p>・ボランティア活動や地域連携行事は、生徒の貴重な体験活動の場である。これらをさらに発展させるために、地域関係機関やPTAと連携した取組を進め、地域に開かれた学校づくりを目指す必要がある。</p>	<p>○HPを活用した教育活動の積極的な情報発信とスマート連絡帳による緊急連絡と広報活動の推進</p> <p>○地域関係機関や保護者と連携した諸事業の推進</p>	<p>①HPに本校の教育活動を多く掲載し、計画的に更新をする。</p> <p>②学校説明会での資料作成や生徒の体験発表について検討し、分かりやすく作成する。</p>	<p>①HPのアクセス件数が10万件を超えることができたか。</p> <p>②説明会や体験入学等の参加アンケートで、中学生・保護者の満足度が向上したか。</p>	<p>広報活動の推進については概ね達成できた。ホームページは昨年度とほぼ同数の約8万件であった。行事や秋桜だより等の情報はこまめに更新し、速やかな情報発信に心がけた。また学校説明会については参加者が高い満足度を示した。特に生徒の体験発表は好評である。</p> <p>地域・保護者との連携についてはほぼ達成できた。ボランティアは延べで47名の参加があり、受入先からも高い評価を得ることができた。またPTA活動については、生徒の活躍の姿を伝える広報誌を作成したりPTA進路見学会では上級学校訪問をしたり充実した活動ができた。</p>	B

学校関係者評価	
実施日	平成31年2月13日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<p>相互の授業参観を通して、新しい指導方法を発見することは、授業改善の第一歩である。今後とも積極的に研鑽を重ね、生徒の学力の伸長を図っていただきたい。授業参観をした後は研究協議等の機会を設け、良かった点、改善すべき点を率直に話し合っていくことも必要である。</p> <p>「個」に応じた指導も力を入れているようだが、今後も年次や分掌で緊密に連携を図り、一人一人を大切に指導を続けてほしい。</p>	
<p>防犯カメラの設置等、生徒が安心・安全に生活できるように取り組んでいることは高く評価できる。生徒指導は基本的に全職員であたるものであり、今後も生徒指導部を中心に、一人一人の生徒と正面から向き合っていくほしい。</p> <p>また、交通安全教育を徹底し、交通事故などに巻き込まれないように指導してほしい。</p>	
<p>コミュニケーション能力と基礎学力を身につけることは、社会人としての大切な土台となる。高校生活の中でしっかりと身に付けてほしい。また、あいさつの徹底は、社会性を育んだり、自己肯定感を高めたりする上で有効なので、今後とも力を入れて指導してほしい。</p>	
<p>地域からは、生徒のマナー等を含めて高く評価することができる。年々生徒が落ち着いてきており、ルールやマナーを守られているという印象が強い。</p> <p>ボランティアについては、高校生が地域でできるものもあるので、今後は積極的に連携を図ってほしい。</p> <p>ホームページについては、更新をするのに手間がかかるのは承知しているが、各学校での教育活動を発信する最も有効な手立てとなっている。継続的に更新をおこない、学校の教育活動の魅力が伝わるように一層尽力していただきたい。</p>	

